

電波時計 取扱説明書 (報時付掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
http://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間で標準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

(Y1809)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

必ず守る 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

禁止 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

禁止 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

必ず守る 電池の⊕を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

禁止 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

禁止 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

禁止 めくれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

分解禁止 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

禁止 下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 火気のそば。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に変換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手の届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

■電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の交換時期お知らせ機能.....常時秒針が12時位置に止まる

電池の交換時期になると、秒針が12時位置に停止して電波の受信を停止します。
※時計と分針は、このような状態になってから1ヵ月程度動き続けます。
※電波を受信しているときや手動で時刻を合わせているときは、秒針が停止します。

注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に変換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 報時をまったく使用しないと電池が長持ちしますが、長期間使用すると電池からの液漏れが発生しやすくなります。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。



おもな製品仕様

使用温度範囲	-10~50℃ *結露しないこと
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒(温度が5~35℃のときのクォーツ精度)
報時精度	表示時刻に対して±1秒
使用電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 1.5V 6個
電池寿命	約1年 (標準電波の受信に成功し、報時を音量大位で1日に17回行ったとき)
報時機能	毎正時に報時音が鳴る
ON/OFF	シーズン/ランダム/カッコー/OFFのスイッチ切替式
自動鳴り止め	ON/OFFスイッチ式
収録音数	野鳥音声報時 49種類
音量調節	小/中/大/最大の4段階スイッチ切替式
モニター	報時モード切替スイッチの位置に合わせた報時音を試聴可能
暗所秒針停止	明暗センサーと連動して12時位置に停止
電池交換時期お知らせ機能	秒針が常時12時位置に停止

電波受信機能	標準電波受信による時刻修正
受信局	福島局/九州局 自動選択
受信ON/OFF	ボタン操作
受信回数	最少 1回/日 最多 6回/日

自動受信開始時刻

受信状態により、受信回数は変化します。
2時15分59秒、3時15分59秒、4時15分59秒、12時15分59秒、13時15分59秒、14時15分59秒
*秒針は受信中12時位置に停止し、受信が終わると動き出します。

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品	お試し用電池 6個	木ねじ 1個	取付金具 1個	くぎ 4個
	取扱説明書 本書	保証書 1枚	野鳥の声図鑑 1冊	

お問い合わせ先

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。例 8MN000

(フリーダイヤル)
お客様相談室 0120-557-005

受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はかね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

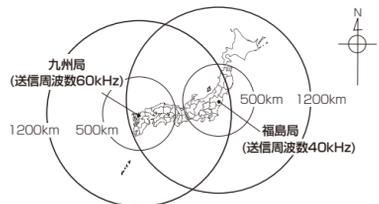
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でご使用になるとときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



静電気の影響について

静電気の影響により、時計が正常に機能しなくなることがあります。このようなときには、強制受信を押ししてください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水で、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

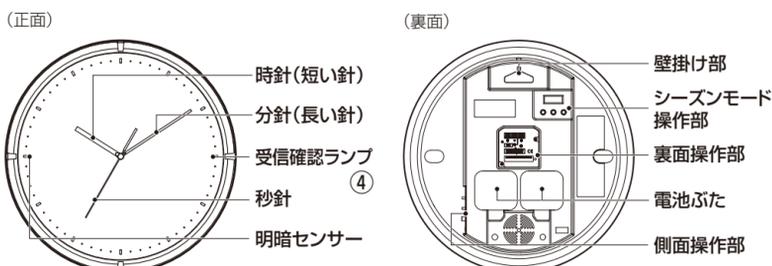
電池・製品の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いかねますのでご了承ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



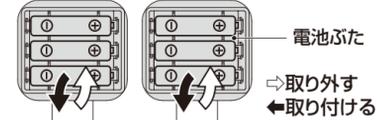
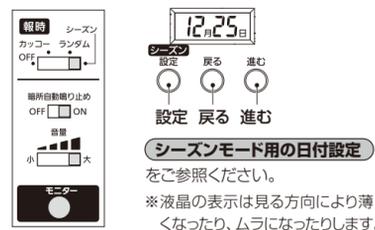
針の動き……通常の時刻表示

時針・分針 : 10秒に1回動きます。
秒針(連続秒針): 連続して動きます。
※自動受信により、時刻を修正するときに早送りや移動したり、停止することがあります。

電池の入れかた

電池ふたを取り外し、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて6個の単3形アルカリ乾電池を入れ、電池ふたを取り付けてください。

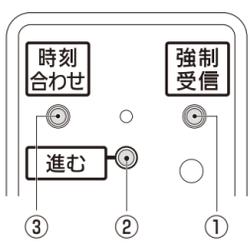
(側面操作部) (シーズンモード操作部)



注意

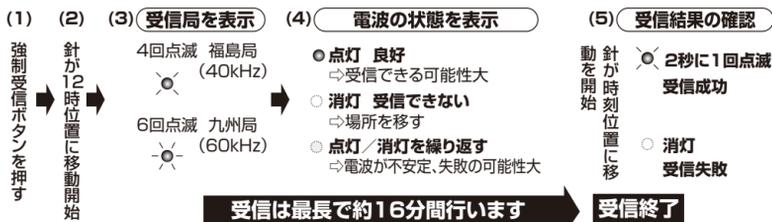
電池の⊕⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

(裏面操作部)



- 強制受信 …… 電池を入れた直後に押します。受信機能をONにして、受信を開始します。
- 進む …… 手動時刻合わせ状態のとき押してすぐ離すと1分進み、押し続けると早送りします。手動時刻合わせ状態以外のとき押すと電波受信機能がOFFのときは、受信表示ランプが2回点滅します。ONのときは消灯したままです。約2秒間押し続けると手動時刻合わせ状態になります。手動時刻合わせ状態のときに押すと、通常の時刻表示に戻ります。
- 時刻合わせ …… 受信の成功/失敗、受信機能の設定状態などを点灯、点滅、消灯でお知らせします。
- 受信表示ランプ… 受信の成功/失敗、受信機能の設定状態などを点灯、点滅、消灯でお知らせします。

標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた



電波サーチ機能の使いかた……受信しやすい所を探すには

- 窓際やベランダで(4)まで行い、受信表示ランプが点灯していることを確認します。受信表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めてお試しください。
- 時計を掛けたい所に移動して、受信状態を受信表示ランプで見ます。消灯している場合は、同じ部屋の中でも電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ざわで取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信を押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

本製品は、シーズンモードで朝昼晩の時間帯に合った野鳥の報時音を再生させるために、時計自体に午前と午後を認識する回路が組み込まれています。そのため、手動で時刻を合わせる場合にも、午前と午後を認識させる作業を行います。

○下記の手順に従い、手動での時刻合わせを行ってください。

操作 通常の針の動きのときに操作してください。

① **シーズンモード用の日付設定** に従い、シーズンモード用の日付設定を行ってください。

② **時分針が指している時刻の午前と午後を確認します。**
シーズンモード用の日付情報は時計の午前、午後情報と同期しています。シーズンモード用の液晶表示で時分針の指している時刻が午前と午後どちらかを確認してください。

設定ボタンを押してすぐ離すとA(午前)とP(午後)の表示が点滅したあと、時分針が指している時刻のA(午前)または、P(午後)を表示します。



③ **時分針を合わせます。**

時刻合わせを2秒間押し続けると分針が1~2目盛動いて停止し、秒針は12時位置まで移動して停止します。この状態になってから時刻を合わせます。

※秒針が動いている間でも、進むを押して時刻を合わせることはできませんが、秒針が動いている間は、手動時刻合わせ状態を終了できません。

④ **進む**を押して時刻を合わせます。
押してすぐ離すと1分進み、押し続けると早送りします。

例 午前6:00を指している時分針を午後7:00に合わせる場合は、午後0:00まで針を早送りさせ、引き続き、進むを押して午後7:00に合わせます。

⑤ **時刻合わせ**を押すと、時を刻み始めます。

○手動時刻合わせ状態のまま4分間ボタン操作をしないと、通常の時刻表示に戻ります。

○強制受信を押すと、手動時刻合わせを終了して受信を開始します。

○受信中に時刻合わせを押すと受信を中止させる操作になります。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

⑥ **時分針が指している時刻の午前と午後を再度確認します。**

⑦での操作を再び行ってください。設定した時刻とシーズンモード用の日付情報のA(午前)とP(午後)の表示が合わない場合は、手動での時刻合わせをやり直してください。

電波受信機能のON/OFFの切り替え操作

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

操作 *通常の針の動きのときに操作してください。

時刻合わせと進むの2つのボタンを同時に5秒間押し続けると電波受信機能のONとOFFが切り替わります。

電波受信機能が切り替わると、受信表示ランプの点滅回数でお知らせします。

ON状態になったとき:5回 OFF状態になったとき:2回

OFFにしたときは、必要に応じて手動で時刻を合わせる必要があります。

■電波受信機能の状態を確認するときは、進むを押してください。受信表示ランプが2回点滅したときはOFFになっています。ONのときは消灯したままです。

使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、(手動での時刻合わせ)を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

- ① 操作中に大きな音が鳴らないように音量スイッチを小にする
- ② 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて単3形乾電池を6個入れる
- ③ 強制受信を押す (標準電波—受信の流れとサーチ機能の使いかた) 参照
針は12時に移動して、受信が終わるまで停止します。
※電池を入れた後は必ず強制受信を押してください。
※早送りの途中で針が一時停止することがあります。
※受信中はシーズンモード用以外のボタン操作をしないでください。
- ④ シーズンモード用の日付を設定する (シーズンモード用の日付設定) 参照
- ⑤ (時計の掛けかた)に従い、時計を確実に掛ける
- ⑥ 16分待つて受信結果を確認する
受信が終わると針が動き出します。
受信表示ランプで受信結果をお知らせします。
2秒に1回点滅:受信成功(正しい時刻)
消灯:受信失敗(不正確な時刻)→(標準電波を受信できない場合)へ

※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信を押してください。

※受信表示ランプは25時間以内の受信結果を表示します。

報時機能の設定 お好みに応じて設定してお使いください。

報時モード切替スイッチ
野鳥の報時音はシーズン/ランダム/カコー/OFFの選択式です。お好みに応じて選択してください。
シーズン: 春夏秋冬/朝昼晩ごとに、その季節、時間帯に合った4種類の野鳥の鳴き声がランダムに報時します。
※収録野鳥数は48種類+シークレット1種類です。
ランダム: 48種類+シークレット1種類の野鳥の鳴き声がランダムに報時します。
カコー: カコーの鳴き声で報時します。
OFF: 鳴りません。

暗所自動鳴り止めスイッチ
ON: 暗くなると明暗センサーと連動して報時を停止します。
OFF: 暗くなっても常時報時します。

音量
報時音量は小/中/大/最大の4段階切替式です。

モニター (報時音の試聴)

モニターを押すと報時モード切替スイッチの位置に応じた報時音が1回鳴ります。報時音が鳴っているときにモニターを押すと次の報時音に切り替わります。次に報時するときには、再生の順番が1つ進みます。

※報時音の順番は、モニターボタンを押してから約1分後にリセットされます。

●報時音は時刻ごとに固定されていません。また順番も変えられません。

●手動で時刻を正したとせば10時ちょうどに合わせても報時をしません。

明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針が12時位置に停止

明暗センサーが暗いと判別した場合は、秒針が12時位置に停止して、受信表示ランプが消灯します。暗所自動鳴り止めスイッチがONのときは、報時を停止します。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

シーズンモード用の日付設定

シーズンモードでは、春夏秋冬/朝昼晩ごとにその季節、時間帯に合った4種類の野鳥の報時音がランダムに再生されます。シーズンモードを使用するために、必ず日付情報を登録してください。操作例に従って、年(西暦)、月日の順に設定してください。

年、月日でのボタン操作

操作例 2023年12月25日に合わせる

点滅している数値を進むボタンまたは戻るボタンで合わせてから設定ボタンを押すと数値を確定して次のステップに進みます。

ボタン	押してすぐ離す	押し続ける
進む	1つ進む	早送り
戻る	1つ戻る	早戻し

●約1分間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
※電池交換時と強制受信ボタンを押したときに日付設定が初期化される場合があります。
※電波受信に成功してもシーズンモード用の日付設定は自動修正されません。

① ①年(西暦)が点滅するまで設定ボタンを約2秒間押し続ける

② ②年(西暦)を合わせる

③ ③月日を合わせる
※月と日は個別ではなく、一連の設定になります。

以上で設定は終わりです。

時計の掛けかた

注意 掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。

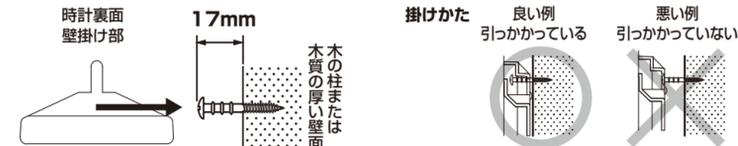
○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

○掛け部以外のところに掛け具を掛けないでください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。

●壁の材質、取り付け方法を確認の上で使用してください。

●付属する取付金具のタイプに応じた取り付けをしてください。

●取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。

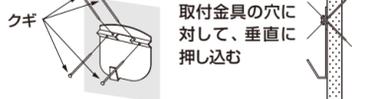
●取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

取り付け方法

取付金具 タイプA
金具を水平にして①②の順序でクギを押し込む。



取付金具 タイプB



その他の壁面の場合

コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

